千葉県　マテリアル分野における地域産業クラスター計画の概要

資料２

１．産業領域

ヨウ素及びヨウ素を活用した関連製品を核とするマテリアル産業

＜特定理由＞

・県は国内生産量の約8割を占めるヨウ素生産県であり、企業や大学においてヨウ素関連製品の製造や研究開発が盛んである。

・ペロブスカイト太陽電池を契機としてヨウ素を利用した製品に注目が集まっており、今後の研究開発や生産拡大が見込まれる。

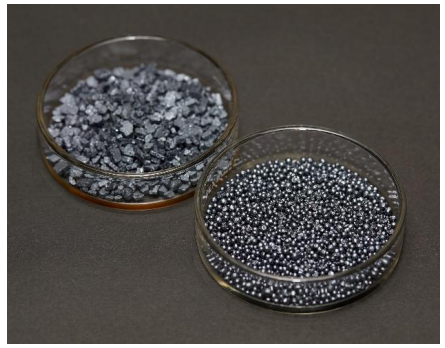
２．対象エリア

①ヨウ素製造：山武、長生、夷隅等の外房地域

②ヨウ素を活用した関連製品：京葉臨海コンビナート地域を中心とした京葉臨海地域



※南関東ガス田は水溶性天然ガス鉱床で、その地下水にはヨウ素が多量に含まれる



ヨウ素

３．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

○外房地域で汲み上げられる「かん水」から、天然ガスとヨウ素が採取されており、ヨウ素製造企業が同地に立地している。

○ヨウ素の増産を図るためには、地盤沈下が懸念されることから、並行して他の製造方法の検討についても進める必要がある。

○医療・電子デバイス分野の需要拡大や、ペロブスカイト太陽電池等の実用化・量産化が進む中、ヨウ素の増産や関連製品の開発に向けた取組が重要。

（２）目指すべき目標（R8～12）

○ 官民設備投資額：110億円

○ 付加価値増加額：29億円

○ 雇用創出数：　　90人

○ 産業人材育成数：27人

※官民設備投資額は千葉県調べ。
付加価値増加額と雇用創出数、産業人材育成数は、官民設備投資額を基に千葉県において算定。

４．勝ち筋

（１）基本戦略

○ヨウ素生産時における回収率の向上、新たなヨウ素抽出技術などの開発を通じたヨウ素の生産増。

○ヨウ素関連製品からのリサイクルの拡大を通じたヨウ素の生産増。

○ヨウ素化合物の付加価値の向上。

○ ヨウ素生産地と需要地への近接性を活かし、ペロブスカイト太陽電池関連部材の製造拠点の集積など、ヨウ素を活用した製品に関する供給基盤の構築。

（２）目指すべき姿

○ヨウ素の生産県である強みを生かして、ヨウ素及びヨウ素を活用した関連製品に関する産業クラスターを形成し、関連企業の集積や研究開発機能の高度化を通じて、付加価値向上や雇用創出を実現する。

５．政策手段

（１）取組に向けた課題

○「かん水」からのヨウ素回収率の向上等、ヨウ素生産増に向けた技術開発に対する支援が必要。

○ 使用済造影剤等のリサイクルに向けた製品回収方法が未確立。

○ 回収率やリサイクル率の向上を図るとともに、高付加価値なヨウ素化合物やヨウ素を活用した関連製品について、研究開発を後押しする取組が必要。

（２）講じるべき政策パッケージ

○ 使用済製品の回収方法の確立や、リサイクルに向けた設備投資への補助。

○ヨウ素回収率の向上や、海藻等からのヨウ素の抽出など、新たなヨウ素生産手法の開発に向けた支援。

○ヨウ素化合物やヨウ素関連製品の研究開発や企業の集積に向けた支援。

千葉県　港湾ロジスティクス分野における地域産業クラスター計画の概要

１．産業領域

物流業、サービス業

＜特定理由＞

・千葉港で今後見込まれる利用ニーズの増大
・千葉港周辺地域で見込まれる物流施設の立地需要の高まり
・千葉ポートパーク等の賑わい機能を備えた施設の集積

２．対象エリア

千葉港 千葉中央地区及びその周辺地域


千葉港 千葉中央地区

３．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

○ 海上輸送へのモーダルシフト需要の増大への対応や京浜港を補完するべく機能強化を図るため、船舶の大型化への対応や物流関連用地の確保、港湾荷役人材の確保・育成が必要。
○ 交流・集客施設の高い集客力やポテンシャルを活かすため、回遊性や一体感を向上させる取組が必要。

（２）目指すべき目標（R8～12）

○ 官民設備投資額：２０億円
○ 付加価値増加額：１８．３億円
○ 雇 用 創 出 数　：１４８人
○ 産業人材育成数：　７４人

４．勝ち筋

（１）基本戦略

○ 千葉港を核とした物流機能の強化
○ 港湾物流を支える作業環境の向上
○ 物流関連産業の集積促進
○ 賑わい拠点の形成

（２）目指すべき姿

○ 物流機能の強化や企業集積、民間投資を促進し、首都圏物流を支える港湾ロジスティクスクラスターの形成を目指す。
○ 賑わい拠点としての魅力向上や交流人口の拡大を図り、県内外から多くの人が訪れるエリアの形成を目指す。

５．政策手段

（１）取組に向けた課題

○ 増加する物流需要に対応するため、物流関連用地の確保が必要
○ 港湾物流を支える人材の確保・育成・定着が必要
○ 設備投資や作業環境の改善による生産性向上が必要
○ 回遊性や一体感の向上による賑わい創出が必要

（２）講じるべき政策パッケージ

○ 物流関連用地の確保、岸壁整備、臨港道路整備、緑地整備等
○ 利用助成制度の拡充検討
○ 設備投資補助（荷役機械等）
○ 商業施設等の立地促進

千葉県　航空宇宙産業分野における地場産業成長プランの概要

1．支援する分野

航空宇宙技術（材料工学、宇宙輸送、推進技術、AI･データ解析、宇宙園芸等）を活用した製品群

＜特定理由＞

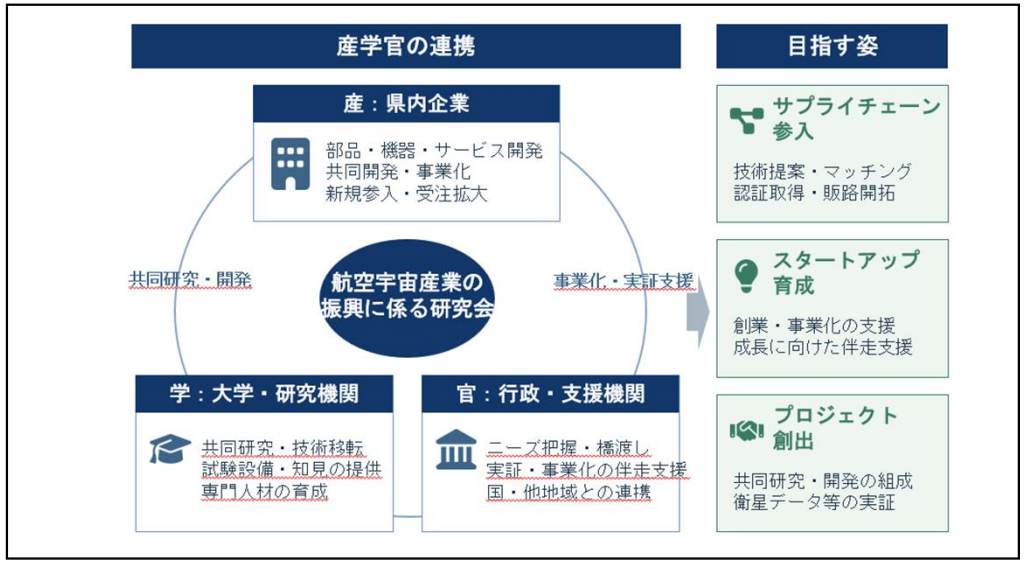
・成田空港第2の開港プロジェクトを契機に、空港との親和性の高い航空宇宙産業の集積を促進

・航空宇宙産業は裾野が広く、幅広い分野で既存企業やスタートアップの参入が期待される

2．支援する地域及び核となる事業者

①支援する地域　東葛･湾岸地域　成田空港周辺市町

②核となる事業者　航空宇宙関連の大学、県内企業等



3．目指す姿（目標）

（1）現状の整理

○ 県内製造業者数は減少傾向で、製造品出荷額･付加価値額は横ばいで推移。

○ 成田空港周辺への産業集積を契機として、付加価値額等を増加させるためには、スタートアップを含む中小企業等が新たに参入してくることが重要。

○ 加えて、航空宇宙分野を得意とする大学等と連携を図ることで、より付加価値の高い製品を生み出すような取り組みが必要。

（2）目指すべき目標

○付加価値増加額：65億円

○産学官連携プロジェクト･研究開発案件創出数：22件

○航空宇宙分野への参入企業数：12社

4．勝ち筋

（1）基本戦略

○ 県内大学や企業が持つ研究･技術シーズを活用して、産学官連携による研究開発を促進。

○ ものづくり中小企業による部品製造などのサプライチェーンへの参入支援。

（2）目指すべき姿

○ 成田空港の機能強化を契機に航空宇宙分野の研究開発と企業集積が進むことで、県内企業の航空宇宙分野への参入を促進し、サプライチェーンの構築を実現。

5．政策手段

○ 大学や企業等を交えた協議体を立上げ、①産学官連携による技術開発を促すための取組や②部品製造･供給等による新規参入支援策などの検討を進め、既存事業との連携等を図る。

○ 航空宇宙分野に知見を持つ人材をコーディネーターとして配置し、産学官連携を通じた新規製品開発や、スタートアップ企業の立ち上げ、サプライチェーンへの参入に向けた伴走支援を行う。

○ 大学や企業における技術開発やサプライチェーンへの参入を後押しするため、試作品開発に向けた補助や、国際規格の認証に対する補助を実施し、製品の開発･出荷に向けた支援を行う。

千葉県　再生可能エネルギー産業等分野（洋上風力発電）における地場産業成長プランの概要

１．支援する分野

再生可能エネルギー（洋上風力発電）

＜特定理由＞

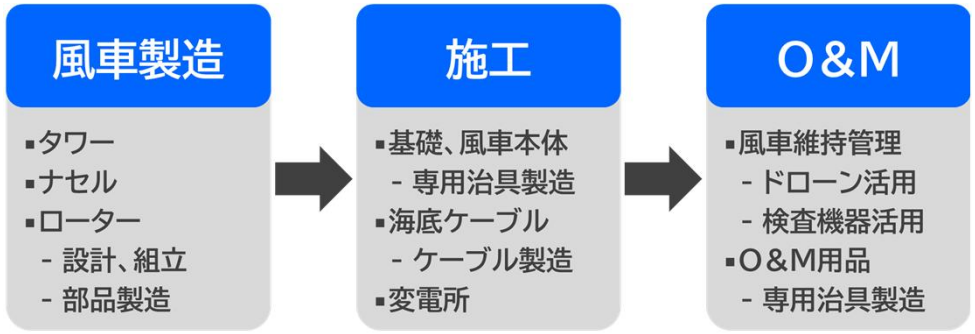
県では４つの海域で洋上風力発電の導入に向けた取組を進めており、地域振興、産業振興、カーボンニュートラルが進むことが期待できる。

２．支援する地域及び核となる事業者

〇支援する地域：千葉市・銚子市・成田市・白井市

〇核となる事業者：風車部品製造のサプライチェーンに係る県内事業者、
O&M（運転・保守）関連産業に係る県内事業者

洋上風力サプライチェーンのイメージ



３．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

〇銚子市沖、いすみ市沖、九十九里沖及び旭市沖の４つの海域で洋上風力発電の導入に向けた取組を進めている。

〇風車部品製造やO&M（運転・保守）に関するサプライチェーンへの県内企業の参入に向けた取組を行っている。

（２）目指すべき目標（R8～12）

〇付加価値増加額　１０７億円

４．勝ち筋

（１）基本戦略

〇県内には機械器具・部品製造、金属加工などの優れた技術を持つ企業が多く存在している。洋上風力発電に関するサプライチェーンにおいて、県内企業が可能な限り参入できる仕組みを構築し、地域経済の活性化を図る。

（２）目指すべき姿

〇洋上風力等の再生可能エネルギーの導入が進み、県内企業の洋上風力発電に関するサプライチェーンへの参入が行われ、地域経済の活性化が図られている。

５．政策手段

（１）取組に向けた課題

〇洋上風力発電事業への参入を目指すには、海外の風車メーカーのサプライチェーンに参入する必要がある。

〇洋上風力関連産業に県内企業の強みをＰＲすることが重要である。

（２）講じるべき政策パッケージ

〇県内企業向けの風車メーカー等との勉強会及び個別商談会の開催

〇洋上風力発電関連産業に関わる県内企業の展示会への出展

千葉県　再生可能エネルギー産業等分野（市町村が分別回収するプラスチック）における地場産業成長プランの概要

１．支援する分野

再生可能エネルギー産業等分野

＜特定理由＞

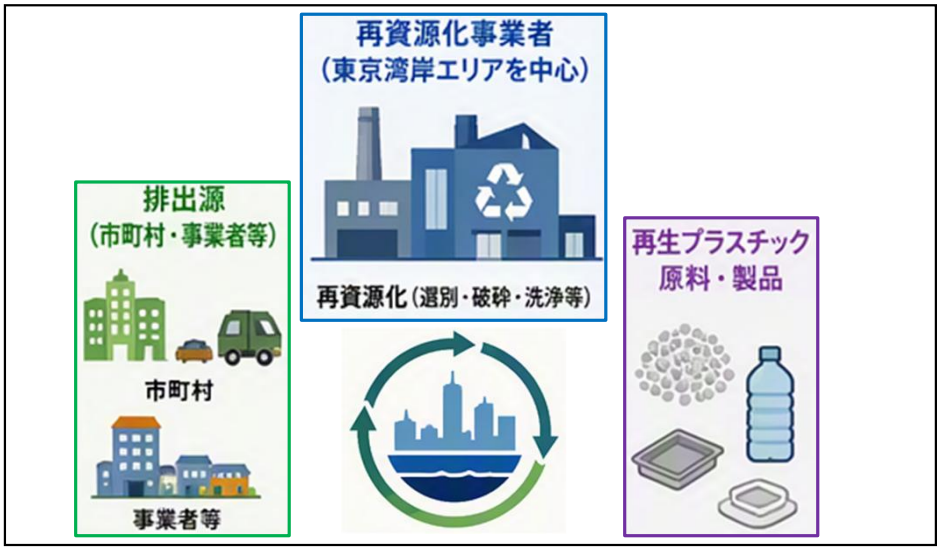
・東京湾岸エリアを中心にプラスチックの再資源化事業者が所在しており、再資源化できる体制は整いつつある。

・市町村による分別回収の取組を加速化させてより多くのプラスチックを再資源化し、県内でプラスチックを資源循環する取組を促進させることを目指す。

２．支援する地域及び核となる事業者

〇支援する地域：　東京湾岸地域

〇核となる事業者：プラスチックの再資源化事業者



３．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

〇分別回収を実施している市町村は、容器包装プラスチックで5割、製品プラスチックで2割程度であり、再資源化できるプラスチックの量は潜在的に多い。

（２）目指すべき目標（R8～12）

〇付加価値増加額：１１億円
（R12：1.8億円）

※ 付加価値増加額は、廃棄物処理業に係る統計データ等を基に千葉県において算定。

４．勝ち筋

（１）基本戦略

〇市町村の分別回収が進むと、再資源化事業者へ搬入されるプラスチックが増え、既存設備の稼働率が高まり採算性が高まる。

〇さらに搬入されるプラスチックが増えると、処理能力を増やすための設備投資が進み、地域経済が拡大していく。

（２）目指すべき姿

〇「資源循環のハブ」として地域経済と地域環境保全の両立を図り、将来的にはリチウム蓄電池等他のリサイクル材への波及も目指す。

５．政策手段

（１）取組に向けた課題

〇県内ではプラスチックの分別回収を実施していない自治体が多い。

〇再資源化事業者との連携が図られていない市町村が多い。

（２）講じるべき政策パッケージ

〇プラスチックの再資源化に取り組む市町村に対する伴走支援を実施する。

〇市町村を含む排出事業者等と再資源化事業者相互の情報交換等の機会を提供するマッチングセミナーを開催する。

千葉県　再生可能エネルギー産業等分野（再資源化可能な産業廃棄物等）における地場産業成長プランの概要

1．支援する分野

再生可能エネルギー産業等分野
（再資源化可能な産業廃棄物等）

＜特定理由＞

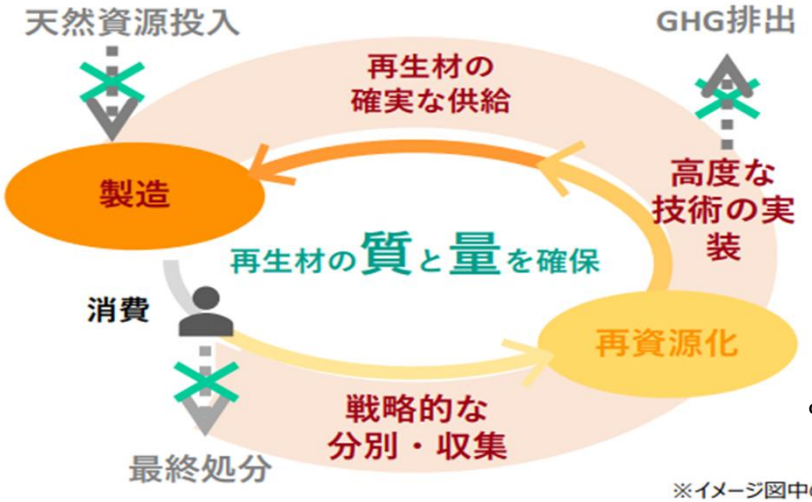
・国際市場における資源獲得競争の激化
・資源循環と気候変動対策を両立させる視点の重視
・産業廃棄物は、「質の高い再生材として 供給されるべき重要な資源」へと、その役割が変化

2．支援する地域及び核となる事業者

○支援する地域：東京湾岸地域を中心とした産業廃棄物処分業者が集積する地域（市川市、市原市、白井市等）

○核となる事業者：産業廃棄物処分業者、千葉県産業資源循環協会及び県内製造事業者等

＜高度化のイメージ＞



出典：環境省ホームページ（https://www.env.go.jp/content/000360673.pdf）

※イメージ図中の×は削減・抑制を含む

3．目指す姿（目標）

（1）現状の整理

○産業廃棄物処分業者が、従来の産業廃棄物の適正処理という役割を超え、産業廃棄物の再資源化に係る技術力や生産性の向上により、質の高い再生材を安定的に供給できる役割を果たすことが求められている。

（2）目指すべき目標（R8～12）

○付加価値増加額　1.68億円※

※千葉県で独自に算定した関連産業における将来投資額を基に算定した額

4．勝ち筋

（1）基本戦略

○本県の優れた物流インフラや産業集積、優良な産業廃棄物処分業者と研究機関との連携を活用

○特定の産業廃棄物の広域的な収集や、最先端技術を用いた再資源化、温室効果ガス削減に資する先進的な高性能設備の導入を促進

（2）目指すべき姿

○「循環経済」への移行を目指し、再生困難な資源から再生可能な資源に替える取組を推進

○動脈産業である製造業事業者等が求める質・量の再生材の安定供給を実現することで、資源循環産業をさらに発展させていく。

5．政策手段

（1）取り組みに向けた課題

○製造事業者等が再生材に求める品質や量と、産業廃棄物処分業者が供給する再生材との間にミスマッチが生じており、動静脈連携が思うように進んでいない。

（2）講じるべき政策パッケージ

○県における手続等の迅速化・簡素化

○産業廃棄物処分業者と製造事業者等による情報交換会を定期的に開催し、連携・協働を促進

○事業者の取組内容や連絡先、再生材の需給状況等が把握できる機能を備えた専用のホームページ等により、地域内での効率的なマッチングを実現する仕組みを整える。

千葉県　健康・医療ものづくり産業分野における地場産業成長プランの概要

１．支援する分野

医療機器、医療関連製品

＜特定理由＞

・本県は臨床研究中核病院を持つ研究機関が立地しており、当該分野は今後も市場拡大が見込まれる成長分野であることから、地域経済の成長につながることが期待できる。

２．支援する地域及び核となる事業者

〇支援する地域　東葛・湾岸地域

〇核となる事業者　県内ものづくり中小企業、
（公財）千葉県産業振興センター



３．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

〇医療機器等の開発は時間を要するが、企業単独では医療機関のニーズ把握が困難である。また、開発力・販売戦略・開発資金等が不足しており、製品化の障壁となっている。

（２）目指すべき目標（R8～12）

○付加価値増加額：14億円

４．勝ち筋

（１）基本戦略

〇県内ものづくり中小企業が、医療機関のニーズに基づき医療機器等を開発・製品化に取り組みやすい環境を整備するとともに、販路拡大を支援することで、医療機器等の市場開拓を促進し、健康・医療ものづくり産業の発展につなげる。

（２）目指すべき姿

〇県内ものづくり中小企業が医療機器等を開発・製品化しやすい環境を整え、取引の創出と取引額の拡大を図る。

５．政策手段

（１）取組みに向けた課題

〇医療機関のニーズ把握
〇医療機関のニーズと県内ものづくり中小企業の技術のマッチング
〇医療機器開発の長期化
〇医療機器特有の規制

（２）講じるべき施策パッケージ

医療機器等の開発・製品化から販売に至る一連の流れに合わせた継続的な以下の取組

〇医療機関と連携した開発支援
〇企業の開発相談・伴走支援
〇医療機器等開発補助
〇セミナー等製品開発支援
〇専門家派遣
〇販路開拓支援　等

千葉県　観光産業分野における地場産業成長プランの概要

1．支援する分野

千葉の自然（温泉・海等）を活用した観光地域づくり

2．支援する地域及び核となる事業者

○支援する地域（核となる地域）

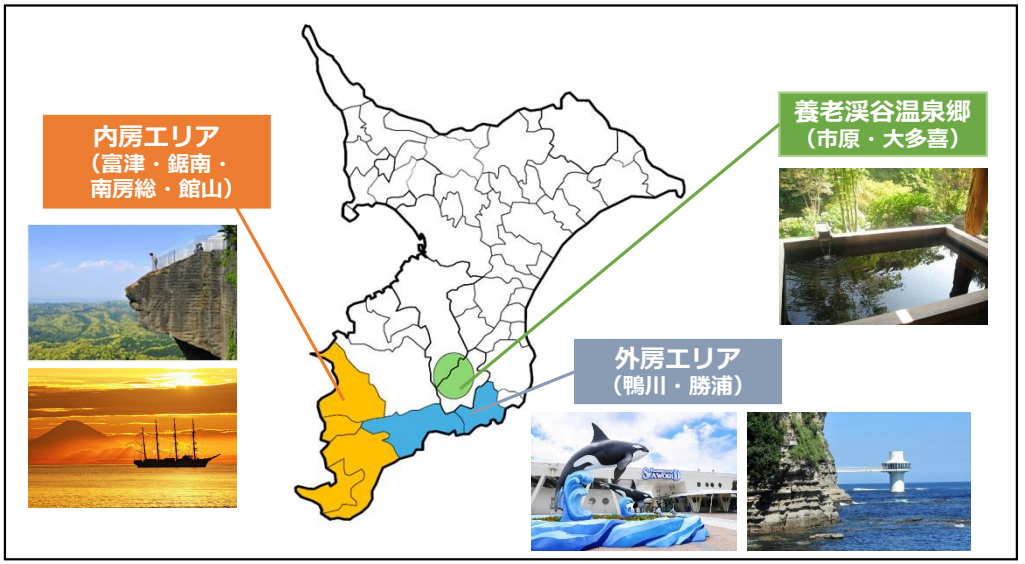
①養老渓谷温泉郷（市原市、大多喜町）

②内房地域（富津市、鋸南町、南房総市、館山市）

③外房地域（鴨川市、勝浦市）

○核となる事業者

地元市町、観光関連団体（観光協会・ＤＭＯ、旅館組合、商工会など）、地域の観光・宿泊事業者、交通事業者等



3．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

○ 本県は首都圏にありながら、豊かな自然環境に恵まれ、紅葉シーズンや夏には多くの観光客が訪れているが、日帰り客の多さなどから観光消費額が伸び悩み、観光入込客数だけでなく、観光消費額の最大化が急務となっている。

（２）目指すべき目標（R12）

①養老渓谷温泉郷

○ 付加価値増加額　14億円
○ 観光消費額　59億円　（R6:25億円）
○ 観光入込客数　292,541人（R6:123,690人）

②③内房地域、外房地域

○ 付加価値増加額　188億円
○ 観光消費額　2,124億円
（R6:1,671億円）
○ 観光入込客数　17,000,000人
（R6:13,373,599人

4．勝ち筋

（１）基本戦略

○ 市町村や観光関係団体、民間事業者など、多様な主体と連携しながら、「海」や「温泉」など豊かな自然や多様な観光資源を活用し、地域のブランディングや観光コンテンツの開発、観光客の利便性向上に向けた取組などを行うことで、魅力ある観光地づくりを促進し、本県の観光消費額の拡大や地域経済の活性化を図る。

（２）目指すべき姿

○ 観光地としての価値や魅力の向上により、国内外の旅行者に選ばれるような目的地となるとともに、新規事業者の参入・投資を呼び込み更なる地域活性化や新規雇用創出にもつなげていく。
○ 観光消費額を増加させ、宿泊・小売・飲食等の売上拡大を通じ、地域の事業者の経営安定化、新規雇用や賃上げなど雇用への好循環につなげていく。

5．政策手段

①養老渓谷温泉郷

○ 地域の合意形成や事業検討
○ 温泉及び地質調査等の各種調査
○ ナイトタイムエコノミーの活性化や山や川を活用した新たなコンテンツ造成に向けた実証
○ 交通利便性の向上に向けた調査・実証
○ 新たなバス専用駐車場の整備

②③内房地域、外房地域

○ 地域の合意形成や事業検討
○ 観光客の受け入れ環境整備や地域のあり方に関する調査・研究
○ 新たなコンテンツの造成に向けた実証
○ 「海と夕陽」ブランディングプロモーション
○ インバウンド向け交通アクセス改善

千葉県　発酵関連産業分野における地場産業成長プランの概要

１．支援する分野

発酵関連産業分野

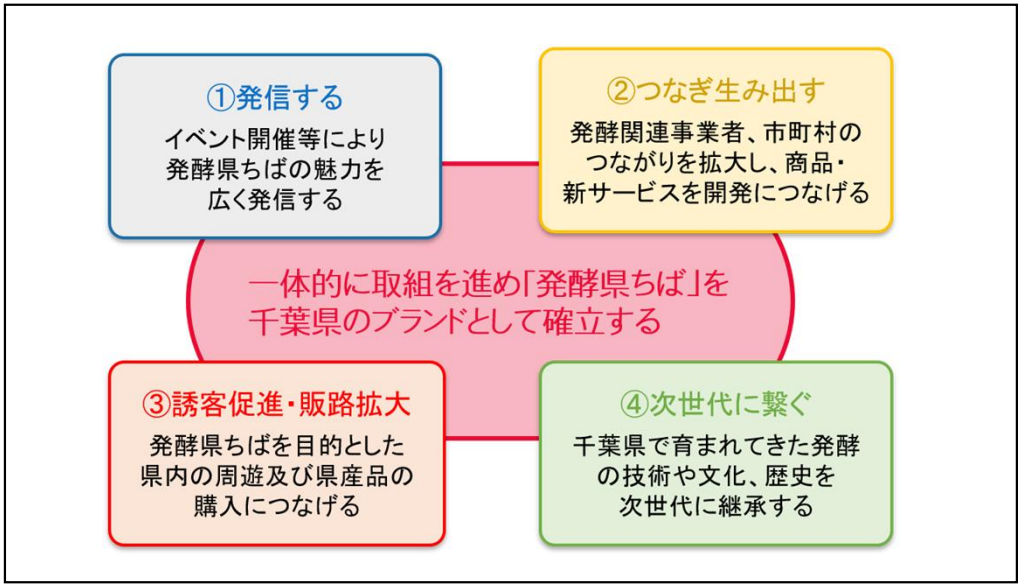
＜特定の理由＞

本県には、各地に発酵の文化や歴史、技術が存在し、大きな魅力の一つとなっており、「発酵県ちば」のブランド化を図ることで、地域経済の活性化が見込めることから、この分野を成長分野として特定した。

２．支援する地域及び核となる事業者

○支援する地域：野田市、銚子市、流山市、香取市、神崎町等の地域

○核となる事業者：醤油やみりん、味噌、チーズ等を製造する発酵関連事業者



３．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

○大阪・関西万博でのアンケート結果によると、「千葉県には発酵の魅力があふれていることを知っていましたか」という設問に対し、63.9%が「知らなかった」、「どちらかと言えば知らなかった」と回答し、認知度の向上が今後の課題である。

（２）目指すべき目標

○付加価値増加額：33億円

※総務省経済構造実態調査に基づき試算

４．勝ち筋

（１）基本戦略

○市町村や発酵関連事業者等と連携し、商品開発や販売展開への支援、発酵資源を活用した観光コンテンツの磨き上げ及び情報発信を一体的に進め、地域経済の活性化につなげる。

（２）目指すべき姿

○「発酵県ちば」のブランド価値向上により、県産品の販路拡大や県内誘客が促進されることで、企業の事業活動が一層活発化し、新製品等の開発が進み、更なる訴求力に繋げる。

５．政策手段

（１）取組に向けた課題

○市町村はもとより団体や企業とも連携し、地域全体で取り組むような仕組み作りが必要である。

（２）講じるべき政策パッケージ

○グルメフェスイベント・発酵サミット等を通じ、事業者をつなぎながら「発酵県ちば」の魅力の発信

○事業者や業界団体と連携した研究による新たな魅力の創出支援

○成田空港を拠点とした発酵スポット巡りツアーの実施

○小学校で地域の発酵食文化等に関する食育活動を実施

千葉県　スポーツ分野における地場産業成長プランの概要

１．支援する分野

スポーツ分野

＜特定理由＞

・自然環境や首都圏・空港からの優れた交通アクセス等を活かし多様なスポーツ活動やイベントが展開。

・様々なスポーツのトップ・プロチームが本拠地を置いている。

・地域を訪れるきっかけを生み出す高い潜在力を有する。

２．支援する地域及び核となる事業者

〇支援する地域：外房・九十九里浜沿岸地域（サーフィン）
市原市など（ゴルフ）
千葉市など（トップ・プロスポーツチーム）

〇核となる事業者：地元自治体、スポーツ関連団体、トップ・プロスポーツチーム等



３．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

〇サーフタウンの一宮町では移住者や宿泊施設等が増加し、ゴルフは新型コロナウイルス感染症流行時におけるアウトドアスポーツとして再評価され集客が好調

〇トップ・プロスポーツチームは野球では年間190万人、サッカーでは年間55万人、バスケットボールでは年間46万人など高い集客力を有する。

〇一方、少子高齢化等による競技人口の減少、大会等への来訪者の減少等が懸念され、競技人口の維持・向上、交流人口の拡大、地域での消費拡大を図る必要がある。

（２）目指すべき目標（R8～12）

〇経済波及効果　50.2億円以上
(サーフィン・ゴルフ　32.5億円以上
トップ・プロスポーツチーム　17.7億円以上)

４．勝ち筋

（１）基本戦略

〇サーフィン人口の拡大に加え、交流人口の拡大等による地域活性化を図る。

〇ゴルフ人口の拡大を通じた誘客促進や地域での消費拡大を図る。

〇子ども達へトップ・プロスポーツの試合観戦や選手等との交流機会を提供し、シビックプライドの醸成や地域の魅力向上に繋げる。

（２）目指すべき姿

〇スポーツ人口の裾野や交流人口の拡大等を図ることで、地域の消費拡大、地場産業振興、経済活性化を図るとともに、スポーツ振興にもつなげ地域活性化を推進

５．政策手段

（１）取組に向けた課題

〇人口減少等による競技人口や来訪者数の減少や大会等の開催減少の懸念

〇一時的な来訪だけでは経済波及効果が限定的となる懸念

（２）講じるべき政策パッケージ

〇地域資源を活用したスポーツ大会・イベント等の開催

〇観光や地場産品等の関連産業との連携

〇魅力発信やPR力の向上

〇トップ・プロスポーツチームと連携した地域の活性化

千葉県　文化芸術分野における地場産業成長プランの概要

1．支援する分野

文化芸術分野

＜特定理由＞

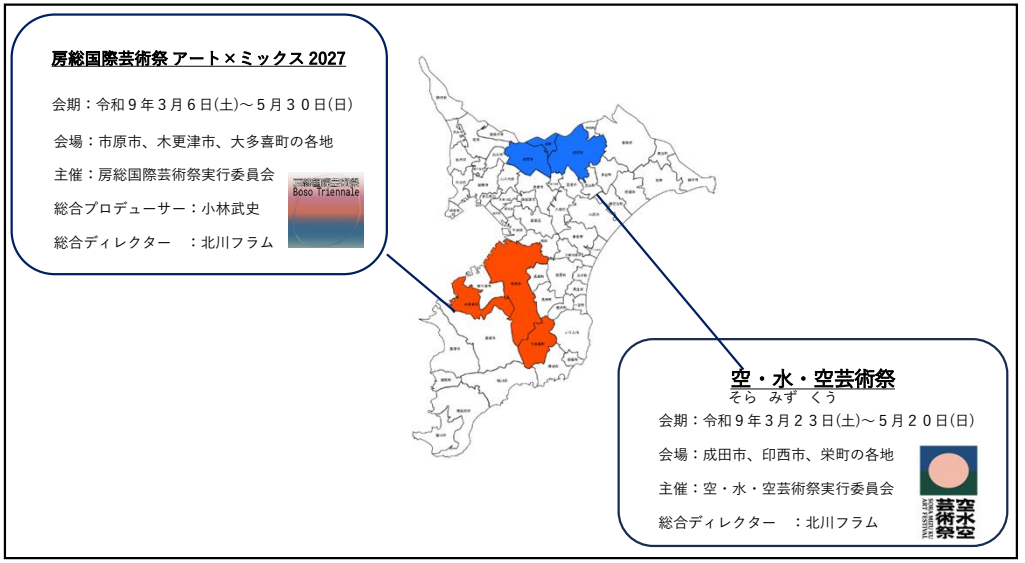
・過去の芸術祭を通じて形成されたレガシーにより、今後の地域の魅力発信や来訪者の呼び込みに活用できる新たな契機となっている。

・地域資源を活用した芸術祭の開催等を通じて、地域の魅力を発信し、交流人口の拡大や地域活性化を図る。

2．支援する地域及び核となる事業者

○支援する地域：市原市、木更津市、大多喜町（房総国際芸術祭）
成田市、印西市、栄町（空・水・空芸術祭）

○核となる事業者：房総国際芸術祭実行委員会、空・水・空芸術祭実行委員会、地域内観光協会　等



3．目指す姿（目標）

（１）現状の整理

○市町村と広域的に連携することで各地域が有する地域資源の一体的な活用が可能となり、来訪者の周遊や滞在時間延長を促し、地域経済への波及効果等が期待される。

○芸術祭を広域的に展開し、その成果を地域に定着させることで地域資源の効果的な活用と持続可能な地域活性化を図る必要がある。

（２）目指すべき目標（R8～12）

○付加価値増加額：累計56.6億円

○域内観光入込数：累計61.8万人

○連携事業者数　：累計630社

4．勝ち筋

（１）基本戦略

○芸術祭の開催を契機に、地域内外から来訪者を呼び込み、観光をはじめとしたサービス分野における消費を促進する。

○恒久作品の活用や地域住民等の参画により地域の魅力向上を図り、交流人口拡大と観光消費の増加による地域経済の持続的な活性化につなげる。

（２）目指すべき姿

○地域ならではの魅力を新たな価値として国内外に発信し、交流人口の拡大、関連産業への波及効果を図る。

○地域住民や関係団体の参画を通じ、文化芸術を生かした持続的な地域づくりを推進する。

5．政策手段

（１）取組に向けた課題

○事業運営に関するノウハウの共有・継承と地域住民の理解促進。

○来訪者の受入体制の整備や、観光・交通等の関係事業者との連携強化。

○芸術祭開催に伴う誘客や消費の効果を持続的な地域活性化や地域経済の発展につなげる。

（２）講じるべき政策パッケージ

○芸術祭の開催及び体制構築

○観光や地場産品等の関連産業との連携

○恒久作品を生かした拠点形成